野球部そして応援した生徒たちの健闘！

教頭便り

平成２７年７月３１日（金）

茨城県立鬼怒商業高等学校　教頭　宇都木　直之

本校に赴任して３年目を迎えました。今年度教頭便り第１号では，"３年目を「ジャンプ」の年に！"というタイトルを用いましたが，まさかこのような形で「ジャンプ」を感じることができるとは思いませんでした。下の記事は，平成２７年７月１９日（日）と２１日（火）の茨城新聞（３回戦と４回戦）のものです。本校野球部はここ数年間１回戦を突破するのに大変な苦労を重ねてきましたが，ついに長いトンネルを抜け出しました。

１回戦（対　石岡商高・那珂湊高・大洗高合同）を７対０（７回コールド）で勝利。

２回戦（対　中央高）を３対２で勝利。

３回戦（対　佐和高）を４対０で勝利。

４回戦（対　常磐大高）を２対０で勝利。

５回戦（準々決勝　対　東洋大牛久高）は惜しくも２対９（８回コールド）で敗れましたが，ここまでＢＥＳＴ８の快進撃は目を見張るものがありました。

第一線で活躍し結果を出すことができた選手たちはもちろんですが，私は同じくらいベンチで声援を送り続けた選手や控えから少ないチャンスで登場し一生懸命プレーした選手たちの姿にも熱いものを感じました。そして更に，暑い中応援のために毎回声を枯らして頑張っていた部活動生徒たち，ファールボールが当たっても気丈に演奏を続けた吹奏楽の生徒たち，熱中症者が一人も出ることがなかった丈夫な一般生徒たち，一緒に応援した先生方みんなを「オール鬼怒商」として誇りに思うことができました。

立場上留守番に回ることが多く，一緒にバスで応援に行くなどという事は普段はあまり想像もできなかった私としては，２回も休日の試合の応援の機会に恵まれ，本当に今年はラッキーでした。おかげで顔はすでに日焼けで真っ黒になりましたが，この勢いに乗ってもらったパワーを秋からの鬼怒商の盛り上げに今度は自分が力を注ぐ番が来たぞと思っています。

第97回 全国高校野球 茨城大会

鬼怒商、26年ぶり16強

ヒーロー

鬼怒商4－0佐和

【評】鬼怒商は投打がかみ合った。先発の大木が9回を2安打の16奪三振で完封。打線は佐和の投手陣を攻めあぐねたが、4回に1死一、二塁から鬼怒商の中前適時打で先制。6回に1死一、二塁から大木の中前適時打、敵の暴投で追加点。8回に1死一、二塁から大木の中前適時打で4点目を奪い、勝利を引き寄せた。

鬼怒商一佐和　最後の打者を空振り三振に打ち取り雄たけびを上げる鬼怒商の大木＝笠間市民球場

大木完封、気迫前面に

佐和、力負け

根本、四回に崩れる

第97回 全国高校野球 茨城大会

鬼怒商 快進撃

38年ぶり8強

大木4安打完封

スポットアップ

2死から着実加点

常磐大高

速球攻略できず零敗